

2020年7月21日

A-PAB

令和2年度 総務省

「衛星放送用受信環境整備事業（中間周波数漏洩対策事業費補助事業）」の 開始について

A-PABでは上記の補助事業について7月1日に交付決定を受け、7月8日（水）から「助成金」の申請受付を開始しました。

本年度は、以下のような取り組みを行いながら、来年に延期された東京オリンピック・パラリンピックに向け、「新4K8K衛星放送」の普及の一助となるよう積極的に事業展開を図ります。

1. 今年度の助成金の予算

助成費＝8億円

2. 期間 2021年2月19日（金）の実績報告書提出分まで

3. 今年度の助成金申請の主な工夫点

- ①申請書類等の簡素化
- ②申請条件の柔軟化
- ③工事実績報告書の簡素化
- ④電子申請への取り組み

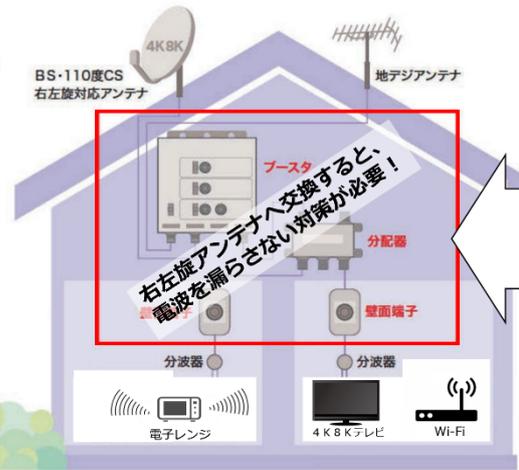
4. 今年度の電波漏洩対策の助成金について

①助成金とは？（おさらい）



電波漏洩対策 助成金とは？





宅内で、“**電波が外部に漏れるタイプの機器**”を使っていると、Wi-Fi等に妨害を与えたり、電子レンジ等の電波が入り込み、新4K8K衛星放送の受信に影響を与える恐れがあります。




4K8Kテレビ

「電波漏洩対策 助成金制度」とは、電波が漏れる機器を**漏れない機器へ交換する費用の一部**に、国の助成金を活用できる制度です。



総務省

衛星放送用受信環境整備事業

②申請の簡素化



3つのかんたんポイント



① 提出書類が減り、申請書や報告写真がシンプルに。

② システム系統図が不要に。

③ 電子申請は、3つの書式*が揃えばOK。



※助成金交付申請書（お客様の署名でOK）、委任状兼助成対象者確認書（お客様の署名でOK）、身分証等のコピー の3書式

お店から電子申請もでき、お客様宅への訪問回数を減らせます。



〇×電器

店頭から電子申請できます！
電子申請の時はお客様の署名でOK！



※電子申請（Jグランツ等）は7月下旬から開始予定です。

③申請条件の柔軟化（戸建住宅の例）



かんたん助成条件



戸建住宅

<工事前>

2017年5月11日
以前から設置

BS 交換！

4K 8K

BS・110度CS
右左型対応アンテナ

壁面端子

分波器

チューナー内蔵4K・8Kテレビ



<工事後>

地デジアンテナ

**助成金の対象機器
（=電波が漏れる機器※1）
があれば申請
できます**

**電波が漏れない機器（3.2GHz
対応）に交換。**

ただし、一部交換できない場合は、
以下の状態でもOK！

- ・ブースタや分配器、壁面端子（最低一か所以上）は電波が漏れない機器（2.6GHz以上対応）に交換。
- ・電波が漏れる壁面端子が交換できない（お客様が交換を希望しない）場合は、フィルター対策でもOK。

※1：技術基準不適合機器（助成金交付対象機器リスト）

このほか、工事後の「工事实績報告書」の簡素化や、助成金の受け取りを登録電気店か申請者（視聴者）かを選択できる仕組みにいたしました。

★詳しくは「電波漏洩対策コールセンター」へ

0570-048-068（ナビダイヤル）

（平日9時～17時、土日祝日、年末年始は休み）

ホームページ <https://if.apab.or.jp/>